

## 国語科学習指導案

川とノリオ 教育出版

### 指導事項

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをもとめること。(C (1) エ)

#### 今回の取り組み（挑戦）

フレームリーディングという文章の内容や構造を丸ごととらえる読みの手法を活用し、教師や子どもがワクワクしながら授業に取り組めるよう、授業改善をしていく。

### 1 目標

優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。

### 2 学習計画

一次：登場人物ならびに中心人物の確認をし、初発の感想を書く。 ①

物語の最初のノリオと最後のノリオを比較してノートに整理し、物語のおよその内容をつかむ。 ①

(物語の最初の川と、物語の最後の川)

二次：ノリオの変容についてすぐれた表現に目を向けながら読み取る。 ④

・「ここが大事」を読み、優れた表現について理解する。

・すぐれた表現を文章中より抜き出してノートにまとめ、そこから、登場人物の心情を考える。(ノリオ、父、母、じいちゃんに共通しているもの：悲しみ・絶望・戦争を憎む心)

・ノリオと川の関係について、時間の経過にあわせてまとめ、作品の主題について考える。

三次：抜き出した表現の中から、特に印象に残った表現を選び、どのように感じたのか 200 字以内にまとめたり、自分の感じたことが伝わるように朗読したりする。②

### 1 時間目

登場人物ならびに中心人物の確認をし、初発の感想を書く。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本単元のめあて「感想を話し合おう」を確認する。	3	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。	

<p>2 本時のめあて、「登場人物を確認したり初発の感想を読み合ったりすることができる」を視写する。</p>	<p>5</p>	<p>・めあてを視写させ、本日の学習の見通しを持たせる。</p>	
<p>3 本文の範読を聞く。</p>	<p>1 5</p>	<p>・全文の範読を聞かせるときに、範読を聞いた後、登場人物を確認すること、感想を先日のように、イメージマップにまとめることを伝える。</p>	
<p>4 登場人物を確認したり、中心人物を考えたりする。</p>	<p>5</p>	<p>・登場人物をノートにまとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ノリオ</li> <li>2 母ちゃん</li> <li>3 じいちゃん</li> <li>4 父ちゃん</li> <li>5 川</li> </ol> <p>・中心人物について考える。</p> <p>*中心人物とは、作品中で大きく変容する人物のことです。変容する、言い換えると変わるものは、「気持ちが変わる」「他の登場人物との関係が変わる」、「ものの見方・考え方が変わる」、「生き方が変わる」などです。</p>	<p>登場人物をノートにまとめている。</p>
<p>4 イメージマップに初発の感想をまとめる。</p>	<p>7</p>	<p>・文章でまとめることに抵抗感を感じずる児童もいると思うので、イメージマップを活用する。</p> <p>・机間支援の際には、内容についての他に、すぐれた表現の仕方について書かれているものがあったら、意図的指名を行う。その際、目の付け所の多様さを賞賛する。また、p 7 4 「すぐれた表現を味わいながら、登場人物の心情を読み取りましょう」に戻り、確認するとさらに効果がある。</p>	<p>(ノート・観察)読む</p>
<p>5 イメージマップをもとに交流する。 (まずは見せ合う→一斉での交流)</p>		<p>・すぐに、発言させず、交流をする。交流のさせ方は、最初に隣と、次に席を立たせ、自分の好きな人と行わせる。時間は3分程度。席につかせた時に、何人の人のノートを見せてもらうことができたか、確認する。また、上手な交流ができていた人を紹介する。この活動を入れることにより、自分のよさや不十分さに気づいたり、次時の学習への意欲にもつなげていきたい。</p>	

	8分	・一斉で話し合う。	
6 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

## 2 時間目

物語の最初のノリオと最後のノリオを比較してノートに整理し、物語のおよその内容をつかむ。

(川をどうするか)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「物語の最初のノリオと最後のノリオを比較してノートに整理することができる。」	3	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。めあてを提示することにより、次の活動である音読の目的意識を持たせていく。集中して試写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	15	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 物語の最初のノリオと最後のノリオを比較してノートにまとめる。	15	・物語は、最初と最後で何かが大きく変わる。前時に、中心人物をノリオととらえているので、中心人物がどのように変わったのか、整理していくことを伝える。このことにより、考えることを明確にしていきたい。 ・ノートに上から、最初・最後と分けて書けるようにする。 ・項目を教師が指定するやり方もあるが、1つだけ例として全体で一緒に行い、後は、児童に任せていく。 ・予想される項目 ① 年齢、②家族構成、③おかれている状況、④気持ちが言える、⑤川での遊び方 *項目は書かせないで、物語の最初と最後の変容をまとめさせていきたい。一斉での交流をする際に、このことは何のことについて、比較して考えたのか、整理していきたい。	ノリオの変容をノートに整理している。(ノート・観察)読む
4 整理したことをもとに、交流する。 (小集団から一斉へ)	10	・全体で確認する前に、ペア学習・グループ学習などが入ると、交流活動になる。(はばプラ)	
6 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

### 3 時間目

ノリオの変容についてすぐれた表現に目を向けながら読み取る。

- ・「ここが大事」を読み、優れた表現について理解する。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「ここが大事」を読み、優れた表現について理解する。」	3	・ 黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くようにする。	
2 ここが大事を音読する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p 93 のここが大事を読み、優れた表現について理解する。</li> <li>・ すぐれた表現についての説明（と効果）を、p 92 をもとに行う。太字については、1 ページに1つの表現を書かせるようにしていく。覚えさせる。</li> <li>* 効果については教師が理解しておく。必要に応じて児童に説明。</li> <li>① 比喩（ようだ） 生き生きと実感</li> <li>② 色 イメージしやすい</li> <li>③ 体言止め 強調</li> <li>④ 擬人法 親近感</li> <li>⑤ 音や様子 わかりやすい</li> <li>⑥ 繰り返し 強調</li> </ul>	
3 すぐれた表現を本文から抜き出し、技法ごとに整理する。	15	・ すぐれた表現をノートに抜き出し整理させていく。その際に、技法ごとに整理させていく。体言止めが多い。そのため、それぞれの技法について、1 ページ以内の整理とする。	すぐれた表現をノートに書きだしている。 (ノート・観察)読む
4 整理したことをもとに交流する。 (小集団から一斉へ)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体で確認する前に、ペア学習・グループ学習などの交流活動を行う。(はばプラ)</li> <li>・ 一斉での確認をする。文章のすべて確認をする必要はない。ただし、様々な技法についての文章を確認できるようにしていく。見つけてなかった表現は記録する。</li> </ul>	
6 本時の学習の自己評価をする。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてにもどり、自己評価をさせる。</li> <li>* 技法ごとに最低一つの表現 宿題</li> </ul>	

### 4 時間目

すぐれた表現から、登場人物の心情を考える。(ノリオ、父、母、じいちゃんに共通しているもの：悲しみ・絶望・戦争を憎む心)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「すぐれた表現から、登場人物の心情を考える」	3	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、2分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	15	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	
3 前時に整理したノートに誰の心情が表現されているか記入したり、心情について記入したりする。	10	・やり方の例として、次の表現を提示する。また、表現が抜き出せなかった児童には、技法にあわせて表現を紹介する。 ・	すぐれた表現から読み取れる登場人物の心情を整理している。 (ノート・観察)読む
4 登場人物について共通している心情についてまとめる。	5	3の活動をもとに、登場人物に共通している心情についてまとめさせる。	
5 整理したことをもとに交流する。 (小集団から一斉へ)	10	・全体で確認する前に、ペア学習・グループ学習などの交流活動を行う。(はばプラ) ・登場人物に共通している心情をまとめる。(悲しみ・絶望・戦争を憎む心) ・2時間目のノリオの変容の理由について、読み取ったことをもとにまとめる。	
6 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

### 5時間目

ノリオと川の関係について、時間の経過にあわせてまとめる。(詳細な読み)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「川とノリオの関係について、時間の経過にあわせてまとめることができる」	3	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して試写する習慣が身に付くようにする。 ・本時は、川とノリオの関係について考えていくことを伝える。	
2 この物語の話のまと	10	・まず、この物語は、大きくいくつに分かれているか。	

<p>まりについて、考えてる。</p>		<p>という問いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童から9つと出ると思うので、その根拠について発言を求める。小見出しに目を付けてくると思う。2～3人に聞いて、全体で確認する。</li> <li>・この、小見出しはすべて「時間」あるいは「季節や日時を表すもの」となっている。ことを、教師がまとめて児童に伝える。</li> </ul>	
<p>3 時間の経過にあわせて、川とノリオの関係についてワークシートに整理する。</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p 93の(2)、川や川っぷちの様子についてまとめましょう。を行う。</li> <li>・ 時間短縮のため、ワークシート活用</li> <li>・ 机間支援を行う。</li> </ul>	<p>場面ごとに、ノリオと川についてまとめている。(ノート・観察)読む</p>
<p>4 整理したことをもとに交流する。 (小集団から一斉へ)</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体で確認する前に、ペア学習・グループ学習などの交流活動を行う。(はばプラ)</li> <li>・</li> <li>・ プリントをノートにはらせておく。</li> </ul>	
<p>5 川とノリオについて考える。</p>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリオは時間の経過とともに変容した。幸せから不幸せ</li> <li>・ 川はどうだろう。</li> <li>・ 今日抜き出した川の様子全体を見渡してノートにまとめよう。</li> <li>C : 川は変わらない。</li> <li>T : 川が変わらないことがわかる文はあるだろうか。</li> <li>C : p 74</li> <li>「その川はすずしい音をたてて、さらさらと休まず流れている。」</li> <li>P 87</li> <li>「さらさらとすずしいせの音をたてて、今日もまた川は流れている。」</li> <li>P 90</li> <li>「川は日の光を照り返しながら、いつときも休まず流れ続ける。」</li> <li>*くりかえしの表現がされている。</li> <li>T : ワークシートと今までの学習から川とノリオの関係はどうだろう。</li> </ul>	

		<p>C：川は変わらないが、ノリオが変容しているという関係</p> <p>C：変わらないものと、変わるものという関係</p> <p>C：自然と人間という関係</p>	
5 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

## 6 時間目

作品の主題について考える。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「作品の主題について考える。」	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して試写する習慣が身に付くようにする。</li> <li>・主題について確認する。</li> </ul>	
2 川が表していることや、川が表しているものをノートに整理する。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分 ノートにまとめる。</li> <li>・3分 小集団での交流</li> <li>・2分全体で確認</li> </ul> <p>川は変わらないものを表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p 74を一緒に読む</li> </ul>	川が表しているものをまとめている。(ノート・発言・交流)
3 ノリオが表しているものや、ノリオが表していることをノートに整理する。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分 ノートにまとめる。</li> <li>・3分 小集団での交流</li> <li>・2分全体で確認</li> </ul> <p>② ノリオは戦争により、両親を失った子供がたくさんいたことを表現</p> <p>③ 戦争はたくさんものを失う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p 82を一緒に読む</li> <li>・ノリオが失くしたものを確認する。</li> </ul> <p>① 黒いゴムぐつ</p> <p>② 麦わら帽子</p> <p>③ 黒いパンツ</p> <p>④ 母ちゃん</p>	ノリオが表しているものをまとめている。(ノート・発言・交流)
4 作品の主題を整理する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が作品の主題について、子どもから出てきた考えを大切にしながらまとめる。</li> </ul> <p>川・・・変わらないもの</p> <p>ノリオ・・・戦争により家族を亡くし、大きな変容があった。</p> <p>題名から考えると、変わらないものと、戦争によりたく</p>	

		さんのものを失くした人間の比較。「と」	
5本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

### 7 時間目

抜き出した表現の中から、特に印象に残った表現を選び、どのように感じたのか 200 字以内にまとめる

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「抜き出した表現の中から、特に印象に残った表現を選び、どのように感じたのか 200 字以内にまとめる」	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。</li> <li>・手順を説明する。</li> <li>① 3・4時間目に学習したページを見ながら、特に印象に残った表現を選ぶ。選ぶ時の観点として、p94の上段四角の中を確認する。</li> <li>② その表現があるページと形式段落を確認する。 例 ～ページ</li> <li>③ p94の感想のまとめ方を読んでまとめ方のイメージをもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページを書く。</li> <li>・印象に残ったすぐれた表現を書く。「」書きにする。(引用)</li> <li>・自分の感想を書く。</li> </ul> </li> <li>④ 条件として、200字以内。(原稿用紙半分を配布するとよい。ただし、名前は欄外)</li> </ul>	
2 話すためのメモを作成する。メモができたなら、その部分の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページを書く。</li> <li>・印象に残ったすぐれた表現を書く。「」書きにする。(引用)</li> <li>・自分の感想を書く。</li> </ul>	
3 朗読について知るとともに、メモと合わせて練習をする。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読とは、文章の内容や文体、そこから受ける感動などを聞き手に音声化して伝えることである。</li> <li>・このあと、朗読の練習をしてもらうが、話すためのメモの「自分の感想」の部分が相手に伝えるということを意識して練習をしていくことを理解させる。</li> <li>・メモはなるべく暗記してほしい。</li> </ul> <p>思いが伝わるとは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① メモの三段落目の内容が伝わるとは <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ</li> </ul> </li> </ul>	話すためのメモの「自分の感想」を意識して、朗読の練習をしている。(メ



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・強弱</li> <li>・間の取り方</li> <li>・抑揚</li> </ul>	モ・観察) 読む
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

### 8 時間目

自分の感じたことが伝わるように朗読する。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「自分の感じたことが伝わるように朗読する」	3	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。	
2 朗読の練習をする。 (リハーサル)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の視点にそって練習をする。</li> <li>思いが伝わるとは、</li> <li>① メモの三段落目の内容が伝わるとは <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ</li> <li>・強弱</li> <li>・間の取り方</li> <li>・抑揚</li> </ul> </li> </ul>	
3 朗読会を行う。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読会の手順</li> <li>① 心に残った場面について、自分の感じたことを伝える。(まとめたメモ)</li> <li>② 朗読する。</li> <li>③ 聞き手が朗読のよさを伝える。 (技能面の良さだけではない。大切なのは、どのような気持ちで朗読しているか。)</li> <li>*学習形態</li> <li>① 一斉</li> <li>② グループ</li> <li>③ 屋台村</li> <li>④ その他</li> </ul>	自分の思いが伝わる朗読ができた。 (朗読) 読む
5 先生の感想を聞く。	20	・朗読会の取り組みを評価し、教師の価値を伝える。場合によっては、先生が印象に残った児童を意図的指名して朗読させ、感想を伝えてもよい。	
5 本単元をひりかえっての学習の自己評価をする。	7	・1時間目のめあて「感想を話し合おう」にもどり、自己評価をさせる。	